


5 ため池浸水想定区域図【今池・七池】

浸水深	
5.0m 以上	赤
3.0m ~ 5.0m未満	赤
0.5m ~ 3.0m未満	黄
0.5m 未満	黄

土砂災害(特別)警戒区域

急傾斜地の崩壊



①土砂災害特別警戒区域
土砂災害により、建物が破壊され、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域。

②土砂災害警戒区域
土砂災害により、住民の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域。

ため池ハザードマップの作成条件

ため池ハザードマップは、万が一の備えとして「最大規模の浸水想定区域」を示しています。浸水想定区域は、以下の条件に基づく「はん濫シミュレーション」により求めています。

- ①ため池が満水状態(余水吐が流木で詰まるなど、なんらかの理由で排水できなくなった状態)のときに、大雨や大地震等によってすべての堤体が決壊し、全貯水量が一気に流れ出すと仮定しています。
- ②決壊によって流出する水は、地形を5mの格子で表した数値モデルを用いて、その動きや場所ごとの水深等を計算により求めました。

●対象ため池の諸元●

【今池】 堤高:9.4m/堤長:137m
貯水量:54,500m³(満水時想定貯水量 87,850m³)

【七池】 堤高:7.4m/堤長:140m
貯水量:20,700m³(満水時想定貯水量 31,900m³)

凡例

指定避難場所	防災倉庫
広域的な一時避難場所	警察
ヘリポート予定地	鉄道
屋外スピーカー	主な道路
5分 はん濫水到達想定時間の目安	
破堤点	

ハザードマップ活用の留意点

東日本大震災の津波被害などでは、ハザードマップで示した浸水想定結果のイメージが固定化され、状況に応じた避難判断の阻害になったケースがありました。浸水想定結果は、ある一つの仮定条件に基づく結果です。また、詳細な地形等を反映できていない場合もあり、浸水想定区域外での浸水や、想定結果以上の浸水深となる可能性もあります。

このため、ハザードマップは多様な災害をイメージする基礎情報であることに留意し、発災時は状況に応じた柔軟な避難行動を心がけてください。

